



暑くなる季節、ペットボトルの飲み残しに注意！

気温が上昇する季節に、清涼飲料水用**ペットボトルが破裂するなどの事故が発生**しています。以下の「**事故を防ぐポイント**」を参考に事故を防ぎましょう。

事故事例

- 破裂したペットボトルの破片で指を切った。
- 廃棄しようとしたとき蓋が飛んで指に強く当たり、あざになった。
- 車内に置いていたペットボトルを開けようとしたら、蓋が飛んで顔に当たった。



事故を防ぐポイント

1. 早めに飲み切り、飲み残したときは冷蔵庫で保管しましょう

ペットボトル飲料は、**一度開栓したら早めに飲み切り**ましょう。夏の屋内環境で飲み残した場合、時間の経過とともに細菌等の微生物が増殖し、ペットボトルの内圧が上昇して**容器が破裂したり、開栓時にキャップが飛んだりする危険**がありますので注意しましょう。飲み残した場合は、**冷蔵庫で保管**しましょう。



2. 夏の車内に放置しないようにしましょう

夏の炎天下で車内にペットボトル飲料を放置すると、未開栓のものでも、内圧が上昇して容器が変形する場合があります。特に、**炭酸飲料の場合は容器が破裂したり、開栓時にキャップが飛んだりする危険**があるので注意しましょう。



3. 廃棄する場合でも長期間放置しないようにしましょう

ペットボトルに飲み残しのある場合、**キャップをしたまま長期間放置**すると、環境によっては細菌等の微生物が増殖して**ペットボトルが破裂**することがあります。廃棄の際にも注意しましょう。

【参考】

《商品等の安全性に関する調査・商品テスト》 暖くなる季節、ペットボトルの飲み残しに注意！
(令和4年4月22日)

https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/test/petbottle_press.html

その他の危害危険情報はこちら。

東京暮らしWEB

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kigai.html>



問合せ先

東京都生活文化スポーツ局消費生活部生活安全課

電話 03-5388-3082